

## 第2回 吹田市特殊詐欺集中対策本部会議概要

日時：令和5年10月24日（火） 午後4時から午後5時30分まで  
場所：吹田市役所 高層棟3階 災害対応オペレーションルームほか  
出席者：別紙「第2回吹田市特殊詐欺集中対策本部会議 出席者一覧」のとおり

### 議題1：本市特殊詐欺被害の状況について（資料1）

### 議題2：特殊詐欺被害防止に資する取組状況の中間報告について（資料2）

### 議題3：今後の重点対策について（資料5）

- ①年金給付日における無人ATM・時間後ATMの警戒強化
- ②防犯機能付電話機等購入補助制度の周知推進
- ③若年層への啓発強化
- ④11月の啓発・警戒強化

### 議題4：各関係機関からの報告（資料6）

資料1	本市特殊詐欺被害の状況について
資料2	特殊詐欺被害防止に資する取組状況一覧【関係機関】
資料3	特殊詐欺被害防止に資する取組状況一覧【吹田市】
資料4	吹田警察署の取組
資料5	重点対策における取組について
資料6	各関係機関からの報告

### 【議題1及び2について】

資料1から4に基づく事務局説明（危機管理室、市民部及び吹田警察署生活安全課）。

#### （市民部長）

#### 防犯機能付き電話機購入補助制度について（補足）

10月24日現在の申請件数は256件で、問い合わせも多数あり、手ごたえを感じている。

### 【議題3について】

資料5に基づく事務局説明。

### 【議題4について】

#### （日本郵便吹田千里郵便局）

#### 配達車両への啓発ステッカーの貼付について

吹田市内で配達を担当する吹田郵便局と吹田千里郵便局で四輪が55台、二輪が210台の合計265台の車両が毎日市内を走っている。全ての家の前を1日1回は必ず通るという配達をしており、その配達車両に集中対策本部の啓発ちらしデザインを使った特殊詐欺防止啓発ステッカーを貼付する準備をしている。軽四についてはA3、バイクについては後ろのキャリアボックスにA4で貼って市内を走って回る予定。支社の確認さえ済めばすぐに走らせようと考えている。

#### （池田泉州銀行江坂支店）

#### 営業車やバイクに貼るマグネットチラシの作成依頼検討について

郵便局の取組みを聞き、我々もやりたいと考えているが、現在社内で調整中。

## **高齢者の振込制限等の取組みについて（資料 2・No.15）**

以前から行っている取組みだが、70 歳以上の方で過去 3 年間にキャッシュカードによる ATM の振り込みをしたことがない方について、ATM での振り込みは全くできないというシステムになっており、一定程度の効果が出ているのではないかと考えている。前回会議で吹田警察署長より振込の着金を遅らせてほしいとの話があったが、こちらはまだ結論が出ておらず、厳しい結論になる可能性もある。ただ、この銀行の取組みは最後の砦の部分になると思うので、やはり入り口の段階での啓発活動が非常に大事かと考えている。11 月 10 日のキャンペーンでもたくさんポスターを貼って店頭でもアピールしたいと考えており、チラシの配布も強化したい。ランパトも営業時間中のできるかわからないが、ぜひ参加して盛り上げていきたい。あと一つ、もっと高齢者の方に直接的に着信できる活動が必要と考えており、この後社会福祉協議会から発表があるかもしれないが、銀行としても各機関と連携して何かできたらと考えている。

### **（みずほ銀行江坂支店）**

#### **高額出金の使途・目的の確認について**

当行では ATM はもちろん、店頭によるお振込みについても、資金使途の確認を徹底している。わからずに出される方が結構多く、今までは本人確認をすれば出していたが、今はどういった目的でご出金されるのか、手渡しの場合は、手渡しする相手はちゃんとわかった相手なのか、チェックリストも用いてかなり確認し、不正の払い出しを防止している。

### **（三井住友銀行吹田支店）**

#### **ロビー、カウンターでの振込詐欺防止チラシ配布について**

吹田支店では、チラシなどを積極的に配布し、声掛けをさせていただいている。今日も高額の出金を不安になりながら来られた方がいたが、スタッフの声掛けによって管理職につながることができた。資金使途をきちんと聞くことで、お止めできる場合がある。ATM コーナーと店頭、カウンターでの受付の時に必ず、できる限り多くの方にお渡ししており、このままで当行では進めさせていただいて、また職員の意識向上も図っていければと考えている。

### **（ゆうちょ銀行吹田店）**

#### **チラシによる啓発、声掛けの実施**

特殊詐欺の防止チラシを ATM コーナーはもちろんのこと、高齢者に手渡ししていたが、先日、50 代の方の振り込み詐欺を吹田警察に止めていただいたことがあり、今は高齢者だけではなく若い方にも直接手渡しするということで、全社員、渉外も含めて、訪問先にもお渡しするように指示をして今実行しているところである。今回の資料には掲載できなかったが、以前から市長、警察署長からいただいている内容については、ゆうちょ銀行本社のマネロン対策部にも伝え、今話をしているところである。2017 年から警察庁の依頼でゆうちょ銀行本社と定期的に打ち合わせをしており、高齢者被害防止に係る対策も既に一部実施している。ただ、詳細を公表することはできないため、ここまでの報告に留める。

### **（吹田市社会福祉協議会）**

#### **高齢者への周知・チラシ配布、啓発ステッカー貼付による啓発活動**

社会福祉協議会では、地区福祉委員会が取り組んでいる高齢者対象の昼食会やいきいきサロンなどで啓発チラシを配布するとともに、吹田市や吹田警察などと連携して特殊詐欺についての周知啓発で少しお時間をいただき説明をしている。33 の地区福祉委員会があるが、1 地区に 1 回だけに限らず、複数回することでより効果的に取り組んでいきたいと考えている。また、啓発ステッカーを公用車に貼って啓発につなげていきたいということと、本日ランパトのことも教えていただいたので、また独自で取組みを考えていけたらと考えている。

### **（セブン-イレブン・ジャパン）**

#### **店頭でのブラインド訓練の実施について**

弊チェーンでは、警察からの提案により、9 月 28 日にブラインド訓練を実施している。市内の 5 店舗で実施し私もそのうちの 1 店に立ち会ったが、従業員がベテランのパートから高校生、大学生と若い方がおり、声掛けする勇気、どう

やって声掛けしたらいいか、あるいは警察に通報してもいいのか、こういった壁がある。今回はそういった従業員の声掛けの壁を非常にわかりやすく解きほぐしていただき、比較的うまく従業員にも伝わったかと思っている。私も弊チェーンの全体会議（大阪府内）にて紹介させていただいた。

別件になるが、7月28日、吹田山田東1丁目店に特殊詐欺防止の表彰をいただいた。この件に関しても、非常に好事例として案内するとともに、日本フランチャイズチェーン協会に表彰申請し、10月25日に表彰されることになった。この日本フランチャイズチェーン協会というのは、セブンイレブンだけではなく、ローソン、ファミリーマート、ミニストップとチェーンが防犯については連携しており、その中での表彰ということで、こちらの方も表彰を授与されたら、発信して行こうと考えている。

#### **（紀陽銀行江坂支店）**

今の危機的な状況を改めて認識し共有した上で、市長からもあったように一つのチームとなって抑止力を高めていくことが一番の目的だと思うので、各関連機関の取組みや注意喚起を聞いた上で、弊行の中でも弊社だからできることを改めて考えて取組みをつなげていきたいと思う。

#### **（北おおさか信用金庫吹田支店）**

当金庫は、やはり顔を合わせてお話をするということが非常に大切に扱っている金融機関である。来店客に関してもご高齢の方も多く、渉外担当者が訪問する先も企業だけではなく、個人宅・ご高齢の宅にも訪問させていただいている。市役所からもらったチラシをATMの方に貼ったりとか、訪問先や来店される方に必ずお渡しするように、窓口や営業担当者にも言っているところで、その意識はだいぶ高まっているかと思う。

私も金曜日に電話を受けたご高齢のお客様から、息子を騙った振り込め詐欺を疑う案件があった。お客様は、「絶対あの声は息子や、息子に間違いない」と言われたが、再度確認するようにアドバイスして、息子さんが会社で仕事をしていたことがわかり、喜んでいただいたということがあった。やはりお話を聞いて、それに対してアドバイスをしてあげるとことをどんどんしていきたいと思う。

当行では市内に4店舗あり、年金受給日には特にロビーに出て啓発活動するとともに、11月10日はキャンペーンということで、その4店舗を含めて固定電話の買い替えの補助金であったりとか、チラシ配布の啓発活動を積極的にやっていきたいと思う。身近な信用金庫というところでできることを一生懸命やっていきたいと思っている。

#### **（春藤特別本部員（副市長））**

特殊詐欺被害については、高齢者などが自分ごととして受け止めてもらうにはまだまだPRしていかなければならない。歳末警戒では子どもから高齢者まで幅広い世代の方々にも町内を回っていただいたりするが、その際の掛け声として「サギ用心、電話一本サギの罠」というようなものを提案する。

#### **（辰谷特別本部員（副市長））**

本部会議の熱量が増しており、12月以降効果として現れることを期待している。それを確固たるものにするには戦略的広報活動を行い、マスコミに取り上げてもらうことが重要となる。関係機関や大学連携も含め各種取組みと広報活動を進めてもらいたい。

#### **（アドバイザー：大阪府警察本部 府民安全対策課）**

これだけ事業者と警察・行政が情報共有し密に連携しているところはないと思う。警察本部でも各署にこの取組みを紹介している。特に、市が独自で行うATM警戒や事業者が独自の取組みを行っているところは非常に素晴らしい。このような取組みを継続し、吹田市で特殊詐欺は割に合わないという雰囲気醸成していただきたい。

## 本部長（吹田市長）指示事項

- 過去のデータから、夏の終わりから冬にかけて被害件数が増える傾向にある。対策本部では、その傾向を認識して各種対策に取り組むこと。
- 特に独居の高齢者は普段人と会話することがほとんどなく、そこに詐欺グループは付け込んでくるという状況である。特殊詐欺の入口が主に電話であることを十分に認識し、電話機対策に取り組んでいくこと。
- 「吹田市では特殊詐欺がやりにくい」という雰囲気醸成するために、より戦略的な広報を進めて行く必要がある。特に11月10日のキャンペーンは、マスコミに取り上げてもらうための工夫を行うこと。
- 関係機関も、社会的責任として社名等を背負って各キャンペーンに参加してもらいたい。特殊詐欺への対応が企業としての社会問題・人権問題への対応であることを理解し、さらなる取組み強化をしてほしい。
- 対策本部では12月までは市・警察・関係機関が連携し、各種アクションプランに取り組むという方針である。各機関とも現在の状況を持ち帰り、更なる対策の検討・実施を願いたい。

## 副本部長（吹田警察署長）指示事項

- 市内の認知件数は昨日（10月23日）までで110件になっている。昨年を上回ることは間違いないが、これからどうやって減らしていくかが鍵となる。そのなかで電話対策は特に鍵となることから対策を継続していくこと。
- コンビニでの取組みについて、未然防止件数が増えてきており、サポート詐欺対策は着実に効果が出てきている。引き続き対策を継続していくこと。
- 還付金詐欺の抑止のため、各金融機関では直近1～3年間ATM利用をしていない高齢者が振り込みを希望した場合、窓口で誘導するような取組みを行っており、それは一定の抑止効果がある。しかし、還付金詐欺の被害者を調べると、ATMでの振込を利用したことがある人でも被害にあっていることがわかったので、より強力な対策が必要である。
- 市内の特殊詐欺被害を分析すると、約4割が還付金詐欺であり、そのうち8割がメガバンクとゆうちょ銀行で占めている。1回の振込限度額を設定されているが、1日の限度額にばらつきがあり、犯人グループはその上限まで何度でも振り込ませて詐取している。すでに地方銀行・信用金庫等の取組みとメガバンクの取組みの差を犯人グループはわかったうえで、メガバンクのATMへ誘導しているため、さらなる振込限度額の引き下げ等対策を行ってほしい。
- 以前から高齢者の振込による着金を1日遅らせてほしいとの提案を行っているが実現に至っていない。1日と言わず1時間でも着金を保留してもらえれば、その間に被害者は還付金の確認のため通帳記帳して入金されていないことに気が付き、窓口や警察につながる可能性がある。他ではやっていないこと、できないと思っていることをいかにやるかでマスコミの取り上げ方は変わっていく。特に還付金詐欺撲滅のために真剣に検討願いたい。